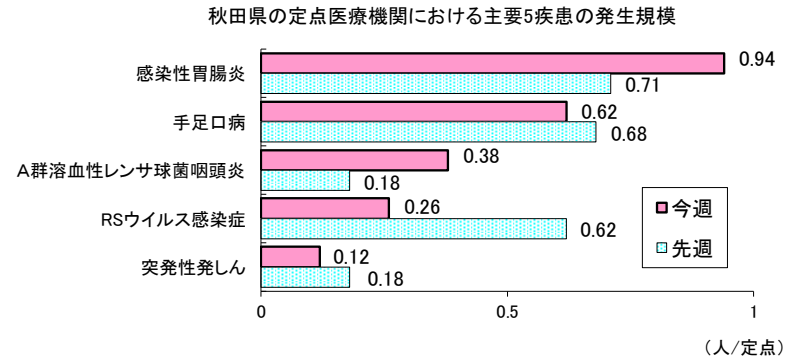




【第40週の発生動向】

<定点把握対象疾患(週報)・前週比>

1. 感染性胃腸炎は、県全体で1.3倍に増加しています。保健所別では、秋田市、北秋田、能代、湯沢で増加、秋田中央で同規模、大仙、横手で減少しています。
2. 手足口病は、県全体で9%減少しています。保健所別では、大館、横手で増加、由利本荘、湯沢で同規模、秋田市、北秋田、能代、大仙で減少しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で2.1倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、北秋田、秋田中央、横手で増加、大仙で減少しています。



発生報告

<五類定点対象疾患(週報)>

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減			
RSウイルス感染症	0.62	0.26	↘				0.50	0.50			0.50	↗				0.25		↘				3.00	0.75	↘	1.00		↘	1.00	1.00	
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱		0.03	↗		0.14	↗																								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.18	0.38	↗		0.14	↗	0.75	1.25	↗		1.50	↗				0.50	0.75	↗				0.25		↘		0.33	↗			
感染性胃腸炎	0.71	0.94	↗	1.71	2.86	↗					1.50	↗	0.67	1.00	↗	1.00	1.00					0.25		↘	1.33		↘	0.33	0.67	↗
水痘	0.06	0.03	↘	0.14	0.14																	0.25		↘						
手足口病	0.68	0.62	↘	0.57	0.43	↘	0.50	0.75	↗	1.50	0.50	↘	1.33	1.00	↘				0.25	0.25		1.50	0.75	↘	0.33	1.67	↗	0.67	0.67	
伝染性紅斑		0.03	↗		0.14	↗																								
突発性発しん	0.18	0.12	↘	0.14		↘	0.25	1.00	↗							0.25		↘	0.25		↘	0.25		↘				0.33		↘
ヘルパンギーナ	0.03	0.03			0.14	↗	0.25		↘																					
流行性耳下腺炎		0.03	↗								0.50	↗																		
川崎病	0.03	0.03																							0.33	0.33				
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*											*	*	
流行性角結膜炎	0.29		↘	0.67		↘				*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数があったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

類型	疾患名	1週-39週		40週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	10865	52	1
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ	1		
三類	細菌性赤痢	14		
	腸管出血性大腸菌感染症	2623	31	1
	腸チフス	11		
	パラチフス	7		
四類	E型肝炎	331		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	59		
	エキノкокクス症	17		
	黄熱			
	オウム病	9		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	13		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	1		
	サル痘	5		
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	100		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			
	チクングニア熱	5		
	つつが虫病	101	7	
	デング熱	56		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			

(人)

類型	疾患名	1週-39週		40週
		全国	秋田	秋田
四類	日本紅斑熱	305		1
	日本脳炎	1		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ペネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	1		
	マラリア	20		
	野兔病			
	ライム病	13		
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
五類	類鼻疽	2		
	レジオネラ症	1616	18	1
	レプトスピラ症	24		
	ロッキー山紅斑熱			
	アメーバ赤痢	405	1	
	ウイルス性肝炎(E型及H型を除く)	152		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1355	12	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	20		
	急性脳炎	284	1	
	クリプトスポリジウム症	6		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	129		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	546	1	
	後天性免疫不全症候群	646		
	ジアルジア症	29		
侵襲性インフルエンザ菌感染症	128	1		
侵襲性髄膜炎菌感染症	5			
侵襲性肺炎球菌感染症	883	6		
水痘(入院例に限る)	233	6		
先天性風しん症候群				
梅毒	9312	25	1	
播種性クリプトкокクス症	111			
破傷風	76			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	107			
百日咳	360	5		
風しん	11			
麻しん	6			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	11			
* 新型コロナウイルス感染症	98713	2468		

* 新型コロナウイルス感染症
* 新型コロナウイルス感染症

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が大館保健所管内から1人、報告されました。
- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症の日本紅斑熱が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のレジオネラ症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の梅毒が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から563人、秋田県管轄8保健所管内から1905人、報告されました。

「日本紅斑熱」について

第40週に日本紅斑熱の患者報告がありました。秋田県での患者報告は初めてですが、感染地域は県外と推定されています。日本紅斑熱は、「リケッチャ・ジャポニカ」という病原体を持ったマダニ類に刺咬されることで感染する病気です。人から人への感染はありません。関東以南の西日本を中心として、マダニが活動する5～10月に患者が多く報告されています。発生時期、発生地を知り、野山など感染するおそれがある地域にできるだけ立ち入らないことが重要です。やむを得ず立ち入る際にはできるだけ素肌を出さないようにするなど、マダニ類を身体に寄せ付けられないよう注意しましょう。

日本紅斑熱に関しては、厚生労働省のホームページでもご覧いただけます。
・https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000169522_00001.html

感染症の集団発生報告

手足口病1件、かぜ様症状2件の集団発生報告がありました。

事例の種類	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
手足口病	北秋田市	綴子保育園	10/7	60名のうち10名	16名のうち0名	10名	9/26～10/7	発熱、発疹
かぜ様症状	三種町	金岡保育園	10/6	32名のうち19名	15名のうち0名	19名	9/26～10/6	発熱、咳、鼻汁、頭痛
	大仙市	協和まほろばこども園	10/6	94名のうち15名	33名のうち0名	15名	10/3～10/6	発熱、咳、鼻汁



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報		警報		対象疾患	注意報		警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1		
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2		
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1		
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4		
手足口病	-	5	2						

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		